

第6回がんと代謝研究会若手の会

(2024年5月16日-17日@鹿田会館 in 岡山大学医学部)

1日目 (2024年5月16日)

13時—あいさつ 岡山大学 富樫庸介/慶應大学 曾我朋義

セッション1 (座長：富樫庸介、発表15分質疑5分目安)

13時10分—14時30分

1. 「HSPB1-SLC7A5はER陽性乳がんにおいて多剤耐性を誘導する」
慶應義塾大学先端生命科学研究所 鈴木結香子

2. 「ELOVL6- a new target of breast cancer therapy.」
金沢大学がん進展制御研究所 龔麟祥

3. 「乳がん細胞における核酸再利用経路と細胞外成分の評価」
庄内地域産業振興センターがんメタボロミクス研究室 太田英斗

4. 「RNA 代謝変化による膵臓がん悪性化メカニズムの解明」
産業技術総合研究所/横浜市立大学 大川真裕香

休憩 5～10 分

セッション 2 (座長：木戸屋浩康、発表 15 分質疑 5 分目安)

14 時 40 分—15 時 40 分

5. 「背景肝の代謝環境と抗腫瘍免疫応答の関係解明」
岡山大学学術研究院医歯薬学域・腫瘍微小環境学分野 石野貴雅

6. 「Cancer-associated fibroblasts drive tumor growth through itaconate-mediated pro-tumorigenic immune microenvironment」

東京大学先端科学技術研究センター 中原龍一

7. 「偽性低酸素による免疫療法の開発」

岡山大学学術研究院医歯薬学域・免疫病理学分野 大原利章

休憩兼スイーツセミナー 20分

国立がん研究センター 牧野嶋秀樹/インフィニティ・ラボ株式会社 石川貴正

セッション3 (座長：今野雅充、発表 15 分質疑 5 分目安)

16 時—17 時

8. 「代謝制御による CAR-T 細胞の機能強化」

慶應義塾大学 籠谷勇紀

9. 「深層生成モデルで切り拓く新たな腫瘍微小環境研究」

東京医科歯科大学・難治疾患研究所 島村徹平

10. 「ニュートリオミクスから迫る癌悪性化機構の解明」

東京大学先端科学技術研究センター・ニュートリオミクス腫瘍学分野 大澤毅

懇親会 17 時半～ (居酒屋ですみません「どどど」岡山市北区本町 7-15 : 駅のほう)

2日目(2024年5月17日)

セッション4 (座長:富樫庸介、発表15分質疑5分目安)

9時10分-10時10分

11. 「倍数性に着目した新たながん医療の開発」

大阪大学大学院生命機能研究科・倍数性病態学研究室 松本知訓

12. 「体細胞変異による腫瘍浸潤リンパ球の活性化」

岡山大学学術研究院医歯薬学域・腫瘍微小環境学分野 向原史晃

13. 「T細胞のミトコンドリア異常と抗腫瘍免疫応答」

岡山大学学術研究院医歯薬学域・腫瘍微小環境学分野 富樫庸介

休憩 5～10分

セッション5 (座長：大澤毅、発表15分質疑5分目安)

10時20分～11時20分

14. 「A novel nutrient sensing mechanism through organelle dynamics in cancer cells」

東京大学大学院工学系研究科・化学生命工学専攻 松下智哉

15. 「腫瘍関連マクロファージのミトコンドリア異常の抗腫瘍免疫応答への影響」

岡山大学学術研究院医歯薬学域・腫瘍微小環境学分野 渡部智文

16. 「PIPs代謝を介したミトコンドリアダイナミクスの新機構」

東京大学先端科学技術研究センター・ニュートリオミクス腫瘍学分野 安藝翔

休憩 5～10分

表彰式 11時30分～